

## 平成27年度兵庫県中学校高等学校青少年赤十字協議会例会（第3学期）報告書

- 1 日時 平成28年1月17日（日）9:30～15:30
- 2 場所 HAT 神戸なぎさ公園交流ひろば  
日本赤十字社兵庫県支部 7階大会議室
- 3 趣旨 例会（第1学期）のグループワークで考えた被災地支援を実行することで、青少年赤十字メンバーとしての意識の高揚と仲間づくりを行い、今後の活動の活性化を図る。
- 4 担当 神戸市立六甲アイランド高等学校
- 5 参加者 高等学校協議会会長 1名、中学校協議会会長 1名、青少年赤十字メンバー 51名、指導者 14名、日本赤十字社兵庫県支部職員 4名 計71名



<メンバー、指導者参加校>

親和中学校、親和女子高等学校、神戸市立六甲アイランド高等学校、兵庫県立神戸高等学校、神戸第一高等学校、兵庫県立尼崎北高等学校、兵庫県立西宮高等学校、兵庫県立国際高等学校、兵庫県立加古川東高等学校、兵庫県立龍野北高等学校、兵庫県立柏原高等学校、兵庫県立神戸聴覚特別支援学校  
兵庫県立家島高等学校（指導者のみ）

### 6 内容

第1学期の例会で考えた被災地支援を実行するべく、1月17日（日）に開催された「ひょうご安全の日のつどい」交流ひろばに出展し、東日本大震災の被災地である東北地方の特産品を販売しました。販売担当メンバーの元気な呼びかけに、たくさんの来場者が足をとめてくださり、「あげかま」と「かもめの玉子」は販売終了時間までに完売しました。また、会場に来られた方々に、震災当時の経験や災害への備え等についてのアンケートを実施しました。

販売終了後は、日本赤十字社兵庫県支部にて、平成27年度宮城県スタディツアーの報告と、交流ひろば来場者に実施したアンケート結果についての意見交換を行いました。スタディツアー参加者からは、「被災地でしか聞けない被災者の方々の本音が聞けて良かった。」「近所の人と助け合っ  
て津波から逃れた事例も多く、近所づきあいは大事だと感じた。」等の感想がありました。

